

## 令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立朝日西小学校	学校 No.	37
<p>1. 福祉教育の取り組み(目標・計画・推進体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目 標 実践活動を通して、社会福祉への理解と関心を深め、進んで社会に貢献しようとする心を育てる。</li> <li>・計 画 教室環境整備、学校内の美化活動、園芸栽培活動、地域の美化活動</li> <li>・推進体制 社会福祉部会を組織し、計画的に実践する。</li> </ul> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容(活動の記録)</p> <p>教室環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開等の来客に向けた環境整備のため、各教室に置く花鉢を購入した。</li> </ul> <p>学校内や地域の美化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会を中心に、資源回収に出す古紙、雑紙や段ボールなどの分別や軽量を行った。</li> <li>・朝日地区共同で、朝日クリーン作戦を行い、集合場所等の地域の清掃を行った。</li> </ul> <p>園芸栽培活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校門の周りや校内の学年園に植える花や野菜の苗を購入し、潤いある環境づくりに努めた。</li> </ul> <p>社会福祉体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉実践教室を通して、バリアフリーの在り方を考え、実生活において自分が何ができるのかを考えた。</li> </ul> <p>3. 福祉教育の成果と課題</p> <p>(1)成果</p> <p>年間を通して、校庭や教室に絶えず花を咲かせたことで環境が整い、児童が花を始めとした生物全般に興味をもって生活できるようになった。また、普段のごみの分別への意識が高まるとともに、朝日クリーン作戦を通して、地域の環境美化に気をつけようという意識が高まった。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>コロナ禍のため中止していた朝日クリーン作戦や福祉実践教室などの活動が久しぶりに行えたが、職員の異動に伴い、コロナ禍前の活動の様子を知る職員が少なく、引継ぎの大切さが身にしみた。いかに次年度へ向けて資料等を残し、引継ぎを行うか職員会等で話し合いたい。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立開明小学校	学校No.	3 8
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標 高齢者や障害のある方との交流を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>(2) 計画 ○5年生児童を対象に、福祉実践教室に取り組む。さらに、総合的な学習の時間において、福祉についての学習に取り組む。 ○5・6年生児童を対象に、「開明地区ねたきり老人・ひとりぐらし老人あて愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○1・2年生児童を対象に、「花苗・野菜苗栽培活動」に取り組む。 ○全校で、赤い羽根募金・緑の募金活動に取り組む。</p> <p>(3) 推進体制 該当学年・児童会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 今年度は、福祉実践教室では、5年生児童が、手話・点字の講習、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の活動を6月に行うことができた。総合的な学習の時間において、自分の設定した学習課題を調査・追究する学習を進め、社会福祉への関心を高めることはできた。11月の学校公開日の学習発表会において、保護者・地域の方々の前で、学習したことを発表する予定であったが、学習発表会は保護者のみの参観での発表となった。 例年10月には、児童会役員児童5名が、近隣のスーパーマーケットで、来店する方々に呼びかけ、赤い羽根共同募金「街頭募金運動」を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本年度は中止となり、校内で募金活動に取り組んだ。 11月中に、5・6年生児童が分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、開明地区の高齢者にあてた年賀状を作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は大いに感激していた。 例年、4月入学・進級早々、1・2年生児童は生活科の授業で花や野菜の種をまいて苗を育てている。例年6月の学校公開日に「しあわせはこぶ なえやさん」と題して、保護者・地域の方々に育ててきた苗を購入してもらっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小し、子どもたちを通して保護者のみに配付するのみとなった。地域の方々の幸せを願い、その売り上げを社会福祉協議会に寄付するという企画であったが、その規模を縮小せざるを得なくなり、たいへん残念であった。 11月29日（火）からは、卒業する6年生に感謝の心を込めて、「感謝の気持ちを伝えよう 一人一鉢運動」に取り組み、卒業式場を花いっぱいにすることができた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まっている。今年度も、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が実施できなかったり、規模を縮小せざるを得なくなったりしたことが多かったが、今後も、内容を工夫しながら、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常の生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

## 令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立大徳小学校	学校 No.	39
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標 高齢者や障害のある方との交流活動やふれあいの機会を通して社会福祉への関心を高め、児童が自分でできることを調査・追究することで、福祉実践力を養う。</p> <p>（2）計画 ○全校で、緑の募金活動に取り組む。 ○4年生児童を対象に、「福祉実践教室」に取り組む。あわせて、1学期の総合的な学習の時間において、福祉についての学習を進める。 ○2～6年生の児童を対象に、大徳・朝日支会のそれぞれの「愛の年賀状送付事業」に取り組む。 ○3・4年生児童を主体として、「一人一鉢運動」に取り組む。</p> <p>（3）推進体制 該当学年・運営委員会・福祉環境委員会を中心にして、また、取り組みによっては、PTA・地域の方々とも連携して推進する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録） 6月16日（木）に、4年生の児童が「福祉実践教室」を受講することができた。貴重な体験により、大切なことを学ぶ機会となった。 11月中に、2～6年生の児童が学級ごとに分担して、相手が喜ぶようにと心をこめて、大徳・朝日地区の高齢者にあてた年賀状を約200枚作成した。取り組みを通して、地域の高齢者の数の多さを知り、改めて福祉への関心を高めていた。新年に返事が届いた児童は、とても喜んでいていた。 11月から3月にわたり、3・4年生の児童を主体として「一人一鉢運動」に取り組んだ。成長したパンジーの鉢植えは、卒業式の会場を彩った。卒業式には在校生は参加しなかったため、在校生の思いが厚く込められたものとなった。今後、4月の入学式の会場を彩る。 例年、10月の大徳連区市民体育祭で、福祉環境委員の児童が「街頭募金運動」に取り組むが、昨年度に続いて、本年度も校内の募金運動に変更した 例年、2月に計画している「感謝の会」を本年度も中止し、米づくりボランティア・登下校の見守り隊の方々に学校に招くことはできなかったが、児童は日ごろの感謝の気持ちを表したメッセージカードを作成した。メッセージカードをお読みいただくことで、児童の気持ちが伝わった。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 それぞれの取り組みの意義をおさえての指導により、児童の福祉への意識は高まり、理解が深まった。次年度でも、取り組みの一層の充実を図っていく。さらに、日常生活の中でも、相手を思いやる心をもとにした、よりよい人間関係づくりを進めさせていきたい。</p>			

## 令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立黒田小学校	学校No.	4 0
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>（1）目標「人の気持ちを理解し、思いやりを大切にする子の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 科…自分の考えをもち、相手の気持ちや立場を理解する力を育てる指導法の研究</li> <li>・道 徳…人との関わりに関することに重点を置いた道徳や命の教育の工夫</li> <li>・特別活動…心のふれあいを大切にした福祉体験活動</li> </ul> <p>（2）計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉実践教室の実施 (11月…5年生)</li> <li>・黒田小サロンでのふれあい活動(通年…1・2年生)</li> <li>・人権教室の実施 (11月…2年生)</li> </ul> <p>（3）推進体制</p> <p>人権・福祉係を中心に企画し、運営は全職員で実施する。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）福祉実践教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 11月17日（木）</li> <li>・実施内容 車いす・ガイドヘルプ・点字の体験</li> </ul> <p>（2）黒田小サロンでの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 毎月第3火曜日の午前中</li> <li>・実施内容 いきいき体操・ミニコンサート・講演会</li> </ul> <p>（3）人権教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 11月25日（金）</li> <li>・実施内容</li> </ul> <p>人権擁護委員会の方による講話、いじめ防止に関するDVD視聴</p> <p>（4）担任による道徳/各教科での授業</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>5年生は、福祉実践教室で体験した車いす・ガイドヘルプ・点字を中心に理解を深め、生活する上での苦労や工夫を知るとともに、障害のある方の気持ちを考えることができた。学校のバリアフリー化に伴い、今まで選択していなかった車いすの体験を追加することで、福祉をより一層身近に感じることができた。</p> <p>総合的な学習の時間の調べ学習でも、福祉について本やインターネットで調べ、障害についての理解を深めた。その他の学年の児童においても、道徳などを通して障害のある方たちとともに社会に生きるために、自分たちにできることを考えることができた。コロナ禍であるため、黒田小サロンでのふれあい活動は行うことができなかった。状況をみながら、児童と地域の方が関われる機会を増やしていきたい。</p> <p>今後は、思いやりの心をもつ児童の育成をめざし、心のふれあいが広がる実践的な活動を考えていきたい。</p>			

【福祉実践教室での様子】



【黒田小サロンでの様子】



## 令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川西小学校	学校No.	41
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者や障害のある人との交流を通して、相手を尊重し思いやる心を育てる。</li> <li>・ 社会福祉について理解・関心を深め、福祉実践力を養う。</li> </ul> <p>(2) 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉実践教室（5年）</li> <li>・ 募金活動（児童会）</li> </ul> <p>(3) 推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な学習の時間、道徳、学級活動において全職員で実施する。</li> <li>・ 児童会活動を通し、全校体制で取り組む。</li> </ul> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>○福祉実践教室（5月）</p> <p>5年生が、点字、高齢者疑似体験、手話、車いす、認知症理解の体験活動を行った。 また、道徳の授業で社会福祉についての考えを深めた。</p> <p>○赤い羽根の募金活動（11月）</p> <p>児童会役員が、募金への協力の呼びかけを行い、全校児童で募金活動に取り組んだ。</p> <p>○人権週間での取り組み（6、12月）</p> <p>人権週間に全校児童が校長講話を聞いた。また児童会が呼びかけを行った。学級でも、ビデオ視聴を行ったり、道徳の授業を通して人権を守る取り組みを行ったりした。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>それぞれの発達段階に応じた活動を取り入れることで、児童の福祉に対する意識が高まった。総合的な学習の時間を利用して、福祉に関する事前の調べ学習を行ったため、児童の理解も深まったのではないかと考える。また、福祉実践教室で体験したことを通して、障害のある方に対する理解と接し方を学習することができた。すべての人に対して「思いやりの心」をもって接していこうという気持ちを育てることができたと感じている。</p> <p>今後、これらの活動で学んだことを、家庭や地域で実践できるように、児童の意識を高めていけたらと考える。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

## 令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立木曾川東小学校	学校No.	42
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 本校の福祉教育の目標</p> <p>① 福祉に対する理解と関心を高め、進んで人や社会に関わろうとする意識を高める。</p> <p>② だれに対しても優しく、思いやりのある態度で接し、自他ともに生命を尊重しようとする意識を高める。</p> <p>(2) 実践方法</p> <p>① 総合的な学習の時間や、道徳、学級活動、各教科との結びつきを考慮する。</p> <p>② 体験的な学習を取り入れる。</p> <p>(3) 計画</p> <p>・福祉実践教室 ・福祉についての調べ学習</p> <p>・ペットボトルキャップ回収活動 ・募金活動・使用済み切手回収運動</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>【手話】5年生 簡単な手話を学び、理解を深めた。</p> <p>【視覚障害者ガイドヘルプ体験】5年生 お年寄りや目の見えない人の気持ちを知るために、器具をつけて校内を歩く体験をした。</p> <p>【点字】5年生 点字を打てる道具を使って点字を打って、点字の仕組みや必要性を学んだ。</p> <p>【福祉についての調べ学習】5年生 福祉実践教室での体験や新聞、インターネットなどを使って調べたことをもとにまとめた。</p> <p>【ペットボトルキャップ回収活動】全校 環境・美化委員会が中心となって全校児童に呼びかけ、1年を通して回収活動を行った。</p> <p>【募金活動・使用済み切手回収運動】全校 募金は児童会が呼びかけ、使用済み切手回収はPTAと協力して、全校で取り組んだ。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>5年生の福祉実践教室では、実際に体験することにより、障害のある人の願いや大変さが分かり、理解を深めることができた。全校で取り組んでいるペットボトルのキャップ回収活動では、PTAと協力し、自分たちの手で世界の恵まれない子を救済するという意識をもつことができた。</p> <p>今後も、福祉に対する理解を深め、日々の生活の中で誰に対しても、優しく、思いやりをもって接する態度が育まれるよう支援していきたい。さらには道徳、学級活動、各教科にも積極的に福祉に関わる学習を取り入れていきたい。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。